

14 荷印及び番号 : Shipping marks & number(s)

* 危険物の明細 : Dangerous goods description

The dangerous goods basic description shall be UN number, Proper Shipping Name, Primary hazard class, Compatibility group for Class 1, Subsidiary hazard class where assigned and packing group where assigned. And the sequence of the above five elements shall be in the above order.

危険物の基本的記載事項は、国連番号/品名/等級（火薬類の場合にあっては、等級及び隔離区分）/副次危険性等級（該当する場合）及び容器等級（該当する場合）であり、かつ、この順に記載されなければならない。

（危規則第17条第1項第4号及び同第2項第2号又は危規則第30条第1項第5号及び同第3項）（IMDG Code para. 5.4.1.4.1 and para. 5.4.1.4.2）

ここでは危険物の明細を次のとおり AAA 及び BBB に分けて説明します。

➤ AAA 基本記載事項 (Dangerous goods basic description) 及びそれらを補完する記載事項

- ① “UN” の文字に続く国連番号 ;
UN number preceded by the letter “UN” ;
- ② 正式品名 ;
Proper Shipping Name (PSN)
- ③ 等級、等級1の場合には隔離区分の文字も含む。;
The primary hazard class or division and for class 1 compatibility group ;
- ④ 副次危険性等級番号（該当する場合に限る。）及び
Subsidiary hazard class or division number(s) where assigned, and
- ⑤ 容器等級（割り当てのある場合に限る。）
Packing group where assigned.

➤ BBB AAA に追加して記載が要求される情報等

4.2.1 AAA: 基本記載事項 (Dangerous goods basic description)

(A-1) 国連番号 : UN Number

危険物リスト（危告示別表1、IMDG Code Dangerous goods list）に示されている国連番号を「UN」の文字に続けて記載する。

記載例：「UN1779」

（「IMDG Code UN1779」、「UN No.1779」、「IMCO UN 1779」等のような記載はしないで下さい。）

（危規則第17条第2項第3号）（IMDG Code para. 5.4.1.4.1.1）

(A-2) 品名 : Proper Shipping Name (PSN)

- 1) 危険物運送における危険物の品名は、運送要件、非常時の措置、応急医療措置等を決定する際の重要な要素となる。品名は危険物リストに示されている英語名の品名のうち、大文字の部分を正確に記載する（記載は大文字、小文字のいずれでも可）。小文字の部分は記載しても差し支えない。
- 2) 危険物リストの危告示別表第1では備考欄に又は IMDG Code では Colum(6)に特別規定 SP274が割り当てられている包括品名及び N.O.S.品名には、化学的又は技術的名称 (Technical name) 二つ以下を品名の直後に（ ）書きで示さなければならない。（ ）書きする化学的及び技術的名称は、ハンドブック、専門誌、教科書等で現に使用されている公認の名称でなければならない。ここに商品名等を記載しないこと。

例 : UN 1993 Flammable liquid, N.O.S.(contains xylene and benzene) Class 3 PG II

(危告示第 14 条の 3 第 1 号イ、危告示別表第 1 備考 10) (IMDG Code para. 3.1.2.8.1.2 and para. 5.4.1.4.3.1)

- 3) 廃棄物である危険物（放射性廃棄物を除く。）であって廃棄のために運送するもの、又は廃棄工程中に運送するものは、正式名称の前に“WASTE”的文字を記載して下さい。ただし、品名の綴りの中に”WASTE”的文字があるものを除く。

(危告示第 14 条の 3 第 1 号ハ) (IMDG Code para. 5.4.1.4.3.3)

- 4) 高温輸送物質 (Elevated temperature substance、貨物温度が液体では100°C/固体では240°C 以上で輸送されるもの) の場合、品名の前に「HOT」の文字を追記記載して下さい。ただし、品名の一部として “MOLTEN” 又は “ ELEVATED TEMPERATURE ” の文字があるものを除く。

(危告示第3条第2項) (IMDG Code para. 5.4.1.4.3.4)

(A-3) 等級 (CLASS) (火薬類の場合は等級及び隔離区分) : Class or division for class 1 compatibility group.

Class の文字に続き等級の数字を記載する（数字のみ記載してもよい）。

“Class 6.1” 又は “ 6.1 “

火薬類の場合は隔離区分 (Compatibility group) を等級 (Class) に続き記載する。

“Class 1.4S”、“ Division 1.4S”、または “1.4S”

危規則の分類・項目・等級及び IMDG Code の Class は次表のとおりです。

(危規則第 17 条第 2 項第 3 号) (IMDG Code para. 5.4.1.4.1.1)

危規則の分類・項目及び等級		IMDG Code Class
火薬類	等級 1.1、1.2、1.3、 1.4、1.5 及び 1.6	Class 1 - Explosives (Division 1.1～1.6)
高压ガス		Class 2 - Gases
引火性高压ガス	等級 2.1	Class 2.1-Flammable gases
非引火性非毒性高压ガス	等級 2.2	Class 2.2-Non-flammable , non-toxic gases
毒性高压ガス	等級 2.3	Class 2.3-Toxic gases
引火性液体類	等級 3	Class 3-Flammable liquids
可燃性物質類		Class 4 - Flammable solids; substances liable to spontaneous combustion; substances which, in contact with water, emit flammable gases
可燃性物質	等級 4.1	Class 4.1- Flammable solids, self-reactive substances and desensitized explosives
自然発火性物質	等級 4.2	Class 4.2-Substances liable to spontaneous combustion
水反応可燃性物質	等級 4.3	Class 4.3- Substances which, in contact with water, emit flammable gases
酸化性物質類		Class 5-Oxidizing substances and organic peroxides
酸化性物質	等級 5.1	Class 5.1-Oxidizing substances
有機過酸化物	等級 5.2	Class 5.2-Organic peroxides
毒物類		Class 6-Toxic and infectious substances
毒物	等級 6.1	Class 6.1-Toxic substances
病毒をうつしやすい物質	等級 6.2	Class 6.2-Infectious substances
放射性物質等	等級 7	Class 7-Radioactive material
腐食性物質	等級 8	Class 8-Corrosive substances
有害性物質	等級 9	Class 9-Miscellaneous dangerous substances and articles and Environmentally hazardous substances

(A-4) 副次危険性等級 : Subsidiary Hazard Class

副次危険性がある場合には、副次危険性等級の数字を()書きで記載する。(Class(等級)番号のみ記載してもよい。)

“(Class 8)” 又は” (8)”

(危規則第 17 条第 2 項第 3 号) (IMDC Code para. 5.4.1.4.1.4)

(A-5) 容器等級 : Packing group

容器等級が割り当てられている場合には、容器等級を PG I 、 PG II 、 PG III のように記載して下さい。

容器等級の割り当ての無い場合は、この欄に「一」を記入して下さい。

(IMDG Code para. 5.4.1.4.1.5)

(A-6) 基本記載事項を補完する記載事項

次の各号に該当する場合は本書式では第 14 欄中の Additional description の欄に記載して下さい。

1) 空容器 : Empty uncleaned packagings or units

輸送する容器が空容器で、内部が洗浄されておらず、前貨の危険物の残滓を有している場合は、「EMPTY UNCLEANED」又は「RESIDUE LAST CONTAINED」の文字を追加記載して下さい。(危規則第 5 条の 2、危告示第 14 条の 3 第 1 項第 1 号ロ) (IMDG Code para. 5.4.1.4.3.2.)

2) 引火点 : Flash point

運送される危険物が 60°C 以下の引火点（密閉式引火点測定試験(c.c.)で計測したもの）を有する場合は、存在する危険性データのうち最も低い引火点を(-18°Cc.c.)のように記載して下さい。 Class 5.2 の有機過酸化物であって引火性の危険性のあるものについてはその引火点を記載する必要はありません。(危告示第 14 条の 3 第 1 項第 1 号 2) (IMDG Code para. 5.4.1.4.3.6)

3) 海洋汚染物質 : Marine Pollutant

海洋汚染物質に該当する場合は、「MARINE POLLUTANT」の文字を記載して下さい。

(海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行規則第 37 条の 17 第 1 項第 1 号)

(IMDG Code para. 5.4.1.4.3.5)

(A-7) 49CFR が要求するその他の記載事項

米国向け貨物の場合には、Additional description の欄に次の必要事項を記載して下さい。

1) 毒性に関する追加情報 (49CFR § 172.203(m))

当該危険物の分類にかかわらず、吸入毒性を有する危険物には、「Poison-Inhalation Hazard」又は「Toxic-Inhalation Hazard」のいずれかの文字とともに、ガスである場合には「Zone A」、「Zone B」、「Zone C」若しくは「Zone D」のいずれかの文字を、又は液体である場合には「Zone A」若しくは「Zone B」のいずれかの文字をそれぞれ記載する。

第 14 欄の何処かに「Poison」又は「Toxic」の文字が記載されている場合にはその文字は省略できる。

2) Reportable Quantity (49CFR § 172.203(c)(2))

当該貨物が Reportable Quantity に該当する場合は、本 Additional description の欄又は危険物の明細の前後「RQ」の文字を記載すること。

例：“UN 3077, Environmentally hazardous substances, solid, n.o.s. (Adipic acid), Class 9,

PGIII, RQ” 又は ”RQ,UN 1098, Allyl alcohol, Class 6.1, PG I , Toxic-inhalation hazard, Zone B”

3) Special permits (49CFR § 172.203(a))

当該危険物が米国運輸省の Special permits (特別許可)の下に運送される場合には、”DOT-SP” の文字に続き、Special permits number (特別許可番号) を記載する。なお、2007年10月1日以前に発行された Exemption の場合は” DOT-E” の文字に続き許可番号を記載するとともに当該 Exemption Certificate を添付すること。

4) 有機過酸化物の含有率 (49CFR § 172.203(k))

有機過酸化物の包括品名がその成分である化学名の含有率によって複数の包括品名に区分されている場合には、()書きする化学名にはその含有率を記載する。

例：“UN 3102, Organic peroxide type B, solid, (dibenzoyl peroxide, 52-100%), Class 5.2,” 又は” UN3108, Organic peroxide type E, solid, (dibenzoyl peroxide, <52%), Class 5.2,”

(A-8) 国連番号、品名、等級、容器等級及び追加記載事項の記載例

以下は、”IMDG Code para. 5.4.1.4.4 Examples of dangerous goods descriptions”を引用しましたので参考にして下さい。

UN 1098 ALLYL ALCOHOL 6.1(3) I (21°Cc.c.)

UN 1098, ALLYL ALCOHOL class 6.1 (class3), PG I , (21°Cc.c.)

UN 1092, Acrolein, stabilized, class 6.1(3) I (-24°Cc.c.) MARINE POLLUTANT

UN 2761, Organochlorine pesticide, solid, toxic, (Aldrin 19%), class 6.1, PG III, MARINE POLLUTANT

4.2.2 BBB : AAA に追加して記載が要求される情報等

(Information required in addition to the dangerous goods description)

次に該当する場合には、第14欄に追加記載するか又は必要書類を添付して下さい。

(B-1) 輸送物の種類と数量 : Total quantity of dangerous goods

Number and kind of packages / Gross mass(kg), Net mass(kg), Cube(m³) :

危険物の輸送物の種類と数量を記載する。輸送物の種類を容器記号で記載する場合は、容器記号単独ではなくその名称と組み合わせて記載する。なお、組合せ容器の場合に内装容器の種類又は個数を記載する必要はない。

一般的に固体の危険物の場合は質量を記載し、液体/気体の危険物の場合は容量を記載する。

火薬類の場合は、正味火薬量を (Net Explosive Mass) を記載する。放射性物質等の場合は、輸送物の正味質量及び総質量を記載する。

品名が複数の場合は、品名別に記載する。

例：

- 10 boxes (4G) 240kg (net) 320kg (gross)
- 100 jerricans (3A1) 2000L 2100kg (gross)
- 10 pressure receptacles 300kg (gross)
- 10 cylinders with valve protection cap 300kg (gross)
- 1(one) Empty uncleaned MEGCs 15000kg (gross)

(危規則第17条第1項第5号又は第30条第1項第6号) (IMDG Code para. 5.4.1.5.1)

(B-2) 少量危険物：Limited quantities

少量危険物については、「LIMITED QUANTITY」又は「LTD QTY」の文字を記載して下さい。

(危告示第 14 条の 3 第 1 項ホ) (IMDG Code para. 5.4.1.5.2)

(B-3) サルベージ容器又はサルベージ高圧容器：Salvage Packing and salvage pressure receptacles
危険物がサルベージ容器又はサルベージ高圧容器にて運送される場合には、それぞれ「SALVAGE PACKAGE」又は、「SALVAGE PRESSURE RECEEPTACLES」の文字を記載する。

(危告示第 14 条の 3 第 1 項ト、チ) (IMDG Code para. 5.4.1.5.3)

(B-4) 管理温度及び非常温度：Control and emergency temperatures

次の場合には、管理温度及び非常温度を記載して下さい。

- 1) 自己反応性物質 (Self-reactive substance of Class 4.1) 及び有機過酸化物 (Class 5.2) であって温度管理が要求されている危険物の場合
又は
- 2) “STABILIZED (安定化したもの)” の文字が正式品名の一部であり、温度管理が安定化の手段である場合

例：「Control temperature: -20°C / Emergency temperature: -10°C

(危告示第 14 条の 3 第 1 項リ) (IMDG Code para. 5.4.1.5.4 and para. 5.4.1.5.5)

(B-5) 自己反応性物質及び有機過酸化物に関する追加記載事項：Self-reactive substances and organic peroxides

次の場合にはその旨をそれぞれ追加記載して下さい。

- 1) 爆発性の副次危険標札の添付が国の主管庁によって免除されている場合。
(IMDG Code para. 5.4.1.5.5.1)
- 2) IMDG Code の規定 (IMDG Code para. 2.4.2.3.2.4, para. 2.5.3.2.5, para. 4.1.7.2.2, para. 4.2.1.13.1, para. 4.2.1.13.3) を根拠に国の主管庁承認を受けて運送する場合。

3) IMDG Code の規定(para. 2.4.2.3.2.4.2, para. 2.5.3.2.5.1)に基づきサンプルを輸送する場合。
(IMDG Code para. 5.4.1.5.5.3)

(B-6) 伝染性病原物質 (Class 6.2) に関する追加記載事項 : Infectious substances
受荷人の住所、名称の詳細(Full address)及び責任者の氏名並びに電話番号を追加記載する。
(IMDG Code para. 5.4.1.5.6)

(B-7) 放射性物質 (Class 7) に関する追加記載事項 : Radioactive material
次の事項を追加記載する。

イ 輸送指數

ロ 安全臨界指數

ハ 放射能の量

二 放射性輸送物としない表面汚染物を運送する場合にあっては、当該表面汚染物に含まれる核分裂性核種の質量

ホ 専用積載により運送する場合は、その旨

(危告示第 14 条の 3 第 2 号) (IMDG Code para. 5.4.1.5.7.1)

(B-8) 内容積1L を超えるエアゾール : Aerosols above 1L

内容積が 1L を超えるエアゾールの場合は、その旨を追加記載する。

例 : 10 aerosols capacity above 1L

(IMDG Code para. 5.4.1.5.8)

(B-9) 主管庁許可の火薬類 : Explosives

製造元国の主管庁が許可又は承認した特別条件下で運送される火薬類の場合にはその旨を記載する。

例 : "Transport under this entry approved by the competent authority of..."

(IMDG Code para. 5.4.1.5.9)

(B-10) 粘着性物質 (引火性液体) : Viscous substances of flammable liquid

粘着性物質の引火性液体類に関する IMDG Code para. 2.3.2.5 の表示、標札等の免除規定を適用して運送する場合には"Transport in accordance with 2.3.2.5 of the IMDG Code"と追加記載する。

(IMDG Code para. 5.4.1.5.10)

(B-11) 隔離グループ : Segregation group

隔離グループリスト (危告示別表第 1 備考 9、IMDG Code para. 3.1.4.4) には国連番号及び品名

がリストアップされていないが、運送する危険物が 18 の隔離グループのいずれかに該当する場合には、そのグループ名を追加記載する。

“UN 1760 CORROSIVE LIQUID, N.O.S. (Phosphoric acid, acetic acid) Class 8 PGIII, IMDG Code segregation group – acids”
(IMDG Code para. 5.4.1.5.11)

(B-12) 非開放型のコンテナ以外のバルクコンテナによる固体危険物の運送 : Transport of solid dangerous goods in bulk containers

非開放型のコンテナ以外のバルクコンテナを使用して固体危険物を運送する場合は”Bulk container BK2 approved the competent authority of”の記述を追加記載する。なお、危規則では非開放型のコンテナ以外のバルクコンテナの使用は認められていない。(危告示別表第 1 備考 6(6)記号 BK2 の意義) (IMDG Code para. 5.4 para. 5.4.1.5.12)

(B-13) 検査期限を過ぎた IBC 容器又はポータブルタンク : Transport of IBCs or portable tanks after the date of expiry of the last periodic test or inspection

検査の有効期間満了日経過以後 6 か月以内の IBC 容器又はポータブルタンクを危険物の返送又は廃棄若しくは再処理のための運送をする場合にはその旨追加記載する。

例 : Transport in accordance with 4.1.2.2.2 / 6.7.2.19.6.2 等

(危規則第 12 条第 1 号、危告示第 14 条の 3 第 1 号又、ル) (IMDG Code para. 5.4.1.5.13)

(B-14) 微量危険物 : Dangerous goods in excepted quantities

微量危険物については、「dangerous goods in excepted quantities」の文字を記載する。

(告示第 14 条の 3 第 1 項へ) (IMDG Code para. 5.4.1.5.14)

(B-15) 煙火の火薬類分類承認番号 : Firework classification reference

Class 1 の煙火 FIRE WORKS(UN0333, UN0334, UN0335, UN0336, UN0337)については、予め地方運輸局において取得した火薬分類承認番号を記載して下さい。

(危告示 17 条関係) (IMDG Code para. 5.4.1.5.15)

(B-16) くん蒸コンテナ : Fumigated cargo transport unit

収納貨物が危険物である又は危険物でないにかかわらず、収納した貨物にくん蒸を施したコンテナである場合には次の事項を追加記載して下さい。

- 1) くん蒸剤の処分についての説明(くん蒸剤の処分に関する説明書を添付する場合を除く。)
- 2) くん蒸を施した年月日及び使用したくん蒸剤の型及び量

なお、収納貨物が危険物でない場合には危険物の明細の欄に次のように記載して下さい。

「UN3359, FUMIGATED CARGO TRANSPORT UNIT, Class 9」

(危告示 16 条の 3 第 2 項) (IMDG Code para 5.5.2.4)

(B-17) その他の追加記載又は証明書類等の添付

次の場合には、その旨を Additional description 欄に記載し又は書類を添付して当該危険物が運送に適した状態であることを証明して下さい。

1) 危険物コンテナ収納検査証

危規則第112条に規定する危険物コンテナ収納検査の対象危険物をコンテナに収納して運送しようとする場合は、荷送人又は船舶所有者は船積前に、危険物の収納方法について船積地を管轄する地方運輸局長又は登録検査機関の検査を受けなければならない。同検査に合格した場合に交付される危険物コンテナ収納検査証は、危険物明細書又はコンテナ危険物明細書に添付して下さい。

当該検査は日本以外で危険物を収納する場合及びタンクコンテナへ収納して輸送する場合は必要となりません。

(危規則第112条)

2) 国土交通大臣又は地方運輸局長の許可証等

- ① 危規則第390条の2（特例措置）に基づく容器及び包装、運送禁止危険物の運送、積載方法、隔離等の許可
- ② 危告示第59条に基づく国土交通大臣許可(y)又は地方運輸局長許可(x)
- ③ その他危規則又は危告示の規定に基づく地方運輸局長許可等

3) 放射性物質等について

海查第 592 号（平成 2 年 12 月 27 日付海上技術安全局長通達、平成 18 年 12 月 8 日付（一部改正）国查第 355 号）により、次のとおり規定されているので「別添輸送文書による。」との欄に記載し、同通達別記 1 の輸送文書を添付して下さい。

海查第 592 号（平成 18 年 12 月 8 日付（一部改正）国查第 355 号） 別紙危険物船舶運送及び貯蔵規則に基づく放射性輸送物の安全の確認等について

I . 規則及び告示中の主な条項の解釈及び取扱い

1 . 規則第 17 条及び規則第 30 条関係

荷送人は、規則第 17 条第 1 項第 6 号及び規則第 30 条第 1 項第 7 号の「その他告示で定める事項」の記載に当たっては、船舶による危険物の運送基準等を定める告示

（昭和 54 年運輸省告示第 549 号）第 14 条の 3 及び第 16 条の 3 に定める事項を含め、別記 1 に示す例に従って輸送文書を作成し、危険物明細書、コンテナ危険物明細書又は自動車等危険物明細書に「別添」として添付して下さい。（以下、略）

4) 特別規定 : Special Provision

危険物リスト中の特別規定 (SP) が付記又は証明書類の添付を要求している場合

(例)

SP356 (UN3166、UN3468 水素吸蔵合金内臓の乗物等)

SP907 (UN1374、UN2216 魚粉)

SP929 (UN1386 シードケーキ)

SP932 (UN1395、UN1398 アルミニウムフェロシリコン粉末、UN1405 ケイ化カルシウム)

SP942 (UN2426 硝酸アンモニウム)

SP946 (UN2968 マネブ)

(危告示別表 1 備考 7 又は備考 10) (IMDG Code para. 3.3.1)

5) 曝気証明書 : Weathering Certificate

ある状況下では危険物リスト中の特別規定 : SP を根拠に曝気証明書の提出が要求されることがある。

(例)

SP907 (UN1374、UN2216 魚粉)

SP926 (UN1363 コプラ)

(IMDG Code para. 5.4.4.1)

6) 規則の適用免除危険物

危険物リスト中の特別規定 : SP 等により「危険物ではない」として運送できる貨物（たとえば、活性炭、魚粉、シードケーキ）がある。ある状況下では「危険物ではない。」ことを証明する主管庁証明書、荷主証明書等がその運送のために提示が要求されることがある。

(危告示別表 1 備考10) (IMDG Code para. 5.4.4.1.2)

7) 新規の自己反応性物質又は有機過酸化物

自己反応性物質又は有機過酸化物の化学名一覧表（危告示別表 1 備考1(2)若しくは(3)又はIMDG Code para. 2.4.2.3.2.3若しくはpara 2.5.3.2.4）に示されていない新規物質を国の許可を得て運送する場合は分類及び運送要件に関する主管庁証明書の提示が要求される。

(危告示第 59 条に基づく地方運輸局長許可(x)) (IMDG Code para. 5.4.4.1.3)

危険物明細書 第14欄の記載例（その1）

<例-1> ABC (INDIA) NO.1-100	UN NUMBER(国連番号)	UN1993	300 JERRICANS (3A1) 6000 L 5700 kg (net) 7200 kg(Gross)
	PROPER SHIPPING NAME(品名)	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.(CONTAINS ETHANOL)	
	CLASS(等級) / SUBSIDIARY HAZARD CLASS (副次危険性等級)	CLASS 3	
	PACKING GROUP(容器等級)	PGII	
	ADDITIONAL DESCRIPTION such as "FLASH POINT" "MARINE POLLUTANT" etc.) (引火点、海洋汚染物質その他必要記載事項)	Flash point (-18°Cc.c.) ↑引火点が 60°C以下の場合 に記載する。 MARINE POLLUTANT	
<例-2> ABC (INDIA) NO.1-101	UN NUMBER(国連番号)	UN1992	200 Box (4G) 2,400L 2,800 kg (Gross)
	PROPER SHIPPING NAME(品名)	Flammable liquid, toxic. N.O.S. (acetone and phenol)	
	CLASS(等級) / SUBSIDIARY HAZARD CLASS (副次危険性等級)	Class 3 (6.1)	
	PACKING GROUP(容器等級)	PGII	
	ADDITIONAL DESCRIPTION such as "FLASH POINT" "MARINE POLLUTANT" etc.) (引火点、海洋汚染物質その他必要記載事項)	Flash point (-10°Cc.c.) ↑引火点が 60°C以下の場 合に記載する。 LIMITED QUANTITY	
<例-3> ABC (INDIA) NO.1-103	UN NUMBER(国連番号)	UN3271	10 IBCs (31HA1) 12,000L 16,500kg(gross)
	PROPER SHIPPING NAME(品名)	Ethers N.O.S. (Diethyl ether 50% solution)	
	CLASS(等級) / SUBSIDIARY HAZARD CLASS (副次危険性等級)	Class 3	
	PACKING GROUP(容器等級)	PGII	
	ADDITIONAL DESCRIPTION such as "FLASH POINT" "MARINE POLLUTANT" etc.) (引火点、海洋汚染物質その他必要記載事項)	Flash point (-10°Cc.c.) ↑引火点が 60°C以下の場 合に記載する。	

危険物明細書 第14欄の記載例（その2）

<例-4> XYZ (CHINA) NO.2-001	UN NUMBER(国連番号)	UN3082	72 drums (1A1) 14,000 L 21,500kg (gross)
	PROPER SHIPPING NAME(品名)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (Contains 65% triethylbenzene)	
	CLASS(等級) / SUBSIDIARY HAZARD CLASS (副次危険性等級)	Class 9	
	PACKING GROUP(容器等級)	PGIII	
	ADDITIONAL DESCRIPTION such as "FLASH POINT" "MARINE POLLUTANT" etc.) (引火点、海洋汚染物質その他必要記載事項)	MARINE POLLUTANT	
<例-5> XYZ (CHINA) NO.2-002	UN NUMBER(国連番号)	UN3065	1(one) portable tank (T4) 18,000L 21,500kg (gross)
	PROPER SHIPPING NAME(品名)	ALCOHOLIC BEVARAGES	
	CLASS(等級) / SUBSIDIARY HAZARD CLASS (副次危険性等級)	Class 3	
	PACKING GROUP(容器等級)	PGIII	
	ADDITIONAL DESCRIPTION such as "FLASH POINT" "MARINE POLLUTANT" etc.) (引火点、海洋汚染物質その他必要記載事項)	(45°Cc.c.)	
<例-6> XYZ (CHINA) NO.2-003	UN NUMBER(国連番号)	UN3166	1 racing car 710kg(gross)
	PROPER SHIPPING NAME(品名)	VEHICLE, FLAMMABLE LIQUID POWERED	
	CLASS(等級) / SUBSIDIARY HAZARD CLASS (副次危険性等級)	Class 9	
	PACKING GROUP(容器等級)	—	
	ADDITIONAL DESCRIPTION such as "FLASH POINT" "MARINE POLLUTANT" etc.) (引火点、海洋汚染物質その他必要記載事項)		

<備考>危険物明細書全般の「記載例」につきましては、6ページをご参照下さい。

[15] コンテナ番号 : Container No.

危険物が収納されているコンテナのコンテナ番号を記入する。

(危規則第30第1項第1号)

[16] シール番号 : Seal No.

危険物を収納したコンテナの扉を閉鎖した状態で施すシールの番号を記載する。

[17] 輸送ユニットの種類 : Container/Vehicle size & type

危険物を輸送するユニットの種類、例えばコンテナ、フラットラック、トレーラー又はその他の車両等を記載する。コンテナの場合は開放型(Open type)か非開放型(Closed type)かも明記する。

[18] 輸送ユニット質量 : Tare mass(kg)

コンテナ、トレーラー等使用する輸送ユニット自体の質量を記載する。

[19] 総質量 : Total gross(Including tare)(kg)

コンテナ内の全ての収納物及びコンテナ自体の質量の合計を記載する。

[20] コンテナ危険物明細書及び自動車等危険物明細書 : CONTAINER/VEHICLE PACKING CERTIFICATE

本書式は、自動車等危険物明細書の書式としても使用できます。その場合には第20欄の記載要領に限っては、「コンテナ」等の用語を規則第35条に従って読み替えて利用をお願いします。

危険物がコンテナに収納される際にコンテナの収納に責任ある者は、コンテナの識別番号(コンテナ番号)が特定され、かつ、次の各条件に従って収納作業が行われたことを証明するコンテナ収納証明書(Container Packing Certificate)を提出しなければならない。

①コンテナは清掃され乾燥して、外観上貨物を収納するのに適した状態にあること。

②適用される隔離要件に従って隔離が要求される輸送物は、コンテナ内に収納されていないこと。(IMDG Code para. 7.3.4.1 の規定により関係国の主官庁が許可した場合はこの限りでない。)

③全ての輸送物に対し外観上の損傷の有無につき検査を行い、正常なもののみを収納したこと。

④別途、主官庁によって許可されている場合を除き、ドラムは直立姿勢で積載されており、かつ、全ての貨物は適切に収納され、かつ、必要な場合には、予定されている輸送モード**の行程に合った固縛材料によって正しく緊締されたこと。

** 「IMO/ILO/UN ECE 貨物輸送ユニットへの収納ガイドライン」を参照。

⑤危険物がばら積み収納される場合は、その貨物はコンテナに均一に配分されていること。

- ⑥貨物に等級1.4以外のClass1の火薬類が含まれている場合には、コンテナはIMDG Code para. 7.1.2の規定に従ってClass1の火薬類を運送するための要件に適合するような構造上良好な使用可能状態であること。
- ⑦コンテナ及び輸送物には適切に表示・標札（標識）・表示が施されていること。
- ⑧固形二酸化炭素（CO₂-ドライアイス）等が冷却剤として使用される場合、コンテナの外部にはIMDG Code para. 5.5.3.6に従って「冷却剤注意用表示」（表示例：“WARNING UN1845 CARBON DIOXIDE, SOLID, AS COOLANT”）を表示する。
- ⑨コンテナに収納された危険物各貨物に対し、危険物明細書が受理済みであること。
(IMDG Code para. 5.4.2.1)

[21] 運送引き継ぎ業者の受け取り：RECEIVING ORGANISATION RECEIPT

運送途上輸送モードの切り替わりの時点等において、次の運送を引き受けことになった運送業者が引渡しを受けた時点で危険物に特異点等を発見した場合にはその内容を記載する。

[22] 宣言：SHIPPER'S DECLARATION

荷送人が第22欄に必要事項を記載し署名することにより危険物明細書となる。

（宣言文）

以下危険物の分類、容器・包装、標札、表示は「危険物船舶運送及び貯蔵規則」等関係法令に適合し、かつ、全ての面において運送に適した状態であることを証明します。

（危規則第17条第3項各号、第30第4項）（IMDG Code para. 5.4.1.6）

4.3 輸送文書（書式）

海查第592号の（一部改正）平成18年12月8日付国海查第355号の別記1

（輸送文書書式例） 英文併記

（用紙：黄色）

文書番号 Document No.

年月日 Date

荷送人の署名 Signature (of the consignor)

輸送文書 : TRANSPORT DOCUMENTS

この放射性輸送物（以下「輸送物」という。）又はコンテナに収納されている放射性物質等については、適切な名称によって下記のとおりすべて正確に記載されており、また、適用される国際及び国内の規則に従つて分類され、輸送物とされ、又はコンテナに収納され、標札等が付され、又は表示が行われ、すべての点において、海上運送に適した状態にあることをここに宣言する。

“I hereby declare that the contents of this consignment are fully and accurately described above by the Proper Shipping Name, and are classified, packaged, marked and labelled/placarded, and are in all respects in proper condition for transport according to applicable international and national government regulations.”

記

- (a) 船舶による危険物の運送基準等を定める告示（以下「危険物告示」という。）別表第1に掲げる品名
- (a) The Proper Shipping Name, as determined according to the para 3.1.2 of the IMDG Code, including the technical name enclosed in parenthesis, as applicable (see the para 3.1.2.8 of the IMDG Code);
- (b) 「Class 7（国連分類番号7）」の文字
- (b) The United Nations Class number “7”;
- (c) 「UN」の文字に続けて危険物告示別表第1に掲げる国連番号
- (c) The UN Number preceded by the letters “UN”;
- (d) 各放射性核種の名称又は元素記号。ただし、当該物質が混合物の場合にあっては、一般的な名称又は最も制約的な放射線核種の一覧表
- (d) The name or symbol of each radionuclide or, for mixtures of radionuclides, an appropriate general description or a list of the most restrictive nuclides;
- (e) 物質の物理的及び化学的性状。ただし、当該物質が特別形放射性物質にあっては、その旨とすることができます。
- (e) A description of the physical and chemical form of the material, or a notation that the material is special form radioactive material or low dispersible radioactive material. A generic chemical description is acceptable for chemical form;
- (f) 最大放射能（ベクレル単位）。ただし、核分裂性物質にあっては、その質量とすることができます。
- (f) The maximum activity of the radioactive contents during transport expressed in units of becquerels (Bq) with an appropriate SI prefix symbol (see the para 1.2.2.1 of the IMDG Code). For fissile material, the mass of fissile material (or mass of each fissile nuclide for mixtures when appropriate) in units of grams (g), or appropriate multiples thereof, may be used in place of activity;

- (g) 第一類白、第二類黄又は第三類黄の別
 (g) The category of the package, i.e. I-WHITE, II-YELLOW, III-YELLOW;
- (h) 輸送指数
 (h) The transport index (categories II-YELLOW and III-YELLOW only);
- (i) 核分裂性輸送物にあっては臨界安全指数
 (i) For consignments including fissile material other than consignments excepted under the para 6.4.11.2 of the IMDG Code, the criticality safety index;
- (j) 輸送物又はコンテナに関する確認番号及び承認番号
 (輸送物設計承認、容器承認、輸送物安全確認、運送計画書安全確認、特別措置に係る承認等)
 (j) The identification mark for each competent authority approval certificate (special form radioactive material, low dispersible radioactive material, special arrangement, package design or shipment) applicable to the consignment;
- (k) オーバーパック又はコンテナを使用する場合には、オーバーパック若しくはコンテナについて、又はオーバーパック若しくはコンテナに収納されている各輸送物の収納物についての詳細な記述
 (k) For consignments of more than one package, the information contained in the para s 5.4.1.4.1.1 to .3 and 5.4.1.5.7.1.1 to .7 of the IMDG Code shall be given for each package. For packages in an overpack, freight container, or conveyance, a detailed statement of the contents of each package within the overpack, freight container, or conveyance and, where appropriate, of each overpack, freight container, or conveyance shall be included. If packages are to be removed from the overpack, freight container, or conveyance at a point of intermediate unloading, appropriate transport documents shall be made available;
- (l) 輸送物、オーバーパック又はコンテナが専用積載により運送されなければならない場合は、「EXCLUSIVE USE SHIPMENT（専用積載）」の文字
 (l) Where a consignment is required to be shipped under exclusive use, the statement “EXCLUSIVE USE SHIPMENT”; and
- (m) 「LSA-II」、「LSA-III」、「SCO-I」及び「SCO-II」の各物質にあってはA2値の倍数で示した当該物質の全放射能
 (m) For LSA-II, LSA-III, SCO-I and SCO-II, the total activity of the consignment as a multiple of A2.
- (n) 次の事項を含む取扱方法その他運送に關し留意すべき事項
 The consignor shall provide a statement regarding actions, if any, that are required to be taken by the carrier. The statement shall include at least the following points:
- (1) 輸送物、オーバーパック、コンテナ若しくはタンクの積込み、積付け、運送、取扱い及び取卸しに関する補足的作業条件（安全に熱除去を行うための特別な積付等の要件を含む。）。ただし、特別な要件が不要な場合はその旨とすることができます。
 - (1) Supplementary requirements for loading, stowage, transport, handling and unloading of the package, overpack or freight container, including any special stowage provisions for the safe dissipation of heat (see the para 7.1.4.5.2 of the IMDG Code), or a statement that no such requirements are necessary;
 - (2) 運送に使用される船舶又は積載場所についての制限及び輸送経路に関する指示
 (2) Restrictions on the mode of transport or conveyance and any necessary routing instructions;
 - (3) 必要な緊急時の措置
 (3) Emergency arrangements appropriate to the consignment.

備考

(1) 記載事項については、項目の順に従って記載すること。この場合、該当しない項目については、該当しない旨記載すること。

The description specified in the above (a) to (m) shall be shown in the order listed above and if the item(s) is (are) not applicable the column(s) shall be as “Not applicable.”

(2) 他の国際協定において宣言することが条件とされている場合には、当該宣言中で言及した内容に関しては、この宣言中で言及する必要はない。

If the intent of the declaration is already a condition of transport within a particular international convention, the consignor need not provide such a declaration for that part transport covered by the convention.

(3) 記(n)については、船舶所有者、船長及び関係国政府等のために必要な言語で記載すること。

The statement in the column (n) shall be in the languages deemed necessary by the carrier, master or the competent authorities concerned.

· · · ·

5. 参考-その他記入上の注意

実際に提出される危険物明細書の記載状況について、未記載や誤記がよく散見される項目（欄）を以下に示します。危険物明細書を作成の際には、危険物輸送時の事故防止に資するという本書式の本来の目的を達成するためにも、以下および次ページに掲載の「未記載や誤記がよく散見される項目」もご参照下さい。

なお、以下に示す各項目（欄）の記載要領につきましては、本書式「4.2 詳細記載要領」をご参照下さい。

○危険品明細書の誤記入・未記入の多い項目(欄)とその内容

- 1) 本書式 第9欄 防災措置、保護具、応急医療措置、緊急時連絡先
 - ①EmS code No.の誤記入又は未記入。
 - ②緊急時連絡先（国番号を含む電話番号）の誤記入（国番号の未記入や間違い等）。
- 2) 本書式 第10欄 船名、航海番号及び積載予定日
航海番号の誤記入又は未記入。
- 3) 本書式 第14欄 荷印及び番号、容器、包装の種類及び個数、総重量又は容量（容積）
 - ①品名の誤記入（一部欠落や N.O.S の前の総称欠落等）
 - ②重量の未記入（GROSS TON 若しくは NET TON）
- 4) 本書式 第2欄 運送書類番号（ブッキング番号）
運送書類番号（ブッキング番号）の誤記入。
- 5) 本書式 第7欄 運送人（船舶の運航会社名）
運送人の未記入又は誤記入。

「未記載や誤記がよく散見される項目」

危険物明細書 DECLARATION OF DANGEROUS GOODS FOR MULTIMODAL TRANSPORT

MESSRS.

御中

This form meets the requirements of SOLAS 74, chapter VII, regulation 4; MARPOL 73/78, Annex III, regulation 4 and the IMDG Code, chapter 5.4.

コンテナ危険物明細書 DECLARATION OF DANGEROUS GOODS IN CONTAINER & CONTAINER PACKING CERTIFICATE FOR MULTIMODAL TRANSPORT

荷送人の氏名又は名称及び住所:Shipper/Consignor/Sender

1 運送書類番号(ブッキング番号):Transport document No. (Booking No.)

2

Page 1 3 荷送人照合番号:Shipper's reference number(s)

4

of pages 貨物運送業者照合番号:Freight forwarder's reference number(s)

5

荷受人の氏名又は名称及び住所:Consignee

6 運送人(船舶の運行会社名):Carrier/運送人が記入(to be completed by the carrier)

7

以下の危険物の分類、容器・包装、標札及び表示は「危険物船舶運送及び貯蔵規則」等関係法令に適応し、かつ、全ての面において運送に適した状態であることを証明します。

SHIPPER'S DECLARATION

I hereby declare that the contents of this consignment are fully and accurately described by the proper shipping name, and are classified, packed, marked and labelled/placarded and are in all respects in proper condition for transport according to the applicable international and national governmental regulations.

This shipment is within the limitations prescribed for: (Delete non-applicable)

PASSENGER AND CARGO AIRCRAFT / CARGO AIR CRAFT ONLY

船名、航海番号及び船積予定日: Vessel / flight No. / Voy.No. and date

署名人の氏名、職名、所属:Name/status company/organization of signatory

22

署名の場所及び日付:Place and date

荷送人の署名:Signature on behalf of shipper

10 防火処置、保護具、応急医療措置:Prevention Measures, Protection equipment, EmS code, Medical First Aid or IMO MFAG.

9

船積港:Port/place of loading

11 緊急時連絡先:Emergency contact (国番号を含む電話番号)

陸揚港:Port/place of discharge

12 仕向地:Destination

13

荷印及び番号:
Shipping marks & number(s)

*危険物の明細; *Dangerous goods description: The basic description shall be shown in order to UN number, proper shipping name, hazard class, compatibility group (for Class 1), subsidiary hazard class where assigned) and packing group (where assigned). 基本記載事項は、国連番号、品名、等級、火薬類にあっては等級及び隔離区分、副次危険性等級(該当する場合)及び容器等級(該当する場合)の順に記載されなければならない。

容器、包装の種類及び個数、総質量又は容量(容積)
Number and kind of packages.
Gross mass(kg) Net mass(kg) Cube(m³)

14

UN NUMBER(国連番号)

PROPER SHIPPING NAME(品名)

CLASS(等級)/SUBSIDIARY HAZARD CLASS (副次危険性等級)

PACKING GROUP(容器等級)

ADDITIONAL DESCRIPTION such as "FLASH POINT", "MARINE POLLUTANT"etc.

(引火点、海洋汚染性物質その他必要記載事項)

コンテナ番号:Container No.

15 シール番号:Seal No.

16 輸送ユニットの種類:Container/
vehicle size & type17 輸送ユニット質量:
Tare mass(kg)18 総質量:Total gross
(Including tare)(kg)

19

上記危険物のコンテナ車両への収納方法及び表示は「危険物船舶運送及び貯蔵規則」に適合し、かつ全ての面において運送に適した状態であることを証明します。

I hereby declare that the goods described above have been packed/loaded into the container / vehicle identified above in accordance with the applicable provisions.**

CARRIER / VEHICLE PACKING CERTIFICATE

MUST BE COMPLETED AND SIGNED FOR ALL CONTAINER/ VEHICLE LOADS BY PERSON RESPONSIBLE FOR PACKING / LOADING

署名人の所属会社名: Name of company

署名人の氏名・職名:Name /status of declarant

署名の場所及び日付:Place and date

荷送人又はコンテナ収納責任者の署名:Signature of declarant

Haulier's name

* 危険物 (Dangerous goods description):
国連番号、品名(商品名不可)、等級、火薬類にあっては等級及び隔離区分、副次危険性等級、容器等級、引火点、管理温度及び非常温度、その他必要な事項を記載すること。

Vehicle reg.No.

* You must specify: UN No., Proper Shipping Name, hazard class, compatibility group (for Class 1), subsidiary hazard class (where assigned), packing group (where assigned), marine pollutant and observe the mandatory requirements under applicable national and international governmental regulations. For the purposes of the IMDG Code see Chapter 5.4.1.4.

DRIVER'S SIGNATURE

** For the purposes of the IMDG Code, see Chapter 5.4.2

6. あとがき

今回の改訂作業に当っては、本書を使用される皆様方にとって、より分かり易く、よりユーザーフレンドリーとなるものを目指し、最新の関連規則の内容に合わせて全体を見直した他、使用言語についても関連規則との整合を図りました。更に、今回は、実際に提出された危険物明細書において、記載漏れや誤記が多くみられる項目を、「5.参考-その他記入上の注意」に記載しました。

本書が危険物明細書を作成される皆様方の一助になること、更に、危険物輸送事故の減少につながれば幸いです。

JASTPRO（ジャストプロ）ご案内図



- ・八丁堀駅 100m 東京メトロ日比谷線 A4 出口……徒歩 2 分
- ・八丁堀駅 200m J R 京葉線 B1、B2 出口 ……徒歩 3 分
- ・茅場町駅 400m 東京メトロ東西線 1 出口 ……徒歩 6 分
- ・宝町駅 800m 都営浅草線 A1、A2 出口 ……徒歩 10 分
- ・JR東京駅 1000m 都営バス 東12、東15、東16系統
八重洲口乗車、亀島橋バス停下車…徒歩 3 分

本協会の事業は経済産業省、国土交通省、日本自転車振興会、日本財團からの補助金、関係業界からの寄付金および賛助会費ならびにコード事業収入等によつて行われています。

平成26年4月

禁無断転載

発行所 一般財団法人 日本貿易関係手続簡易化協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-29-11(八重洲第五長岡ビル)
電話 (03) 3555-6031 (代)